

第5学年 社会科学学習指導案

単元名：「いいね！日本の米づくり～米づくりがさかんな地域～」

指導者 呉市立三坂地小学校 森高 大樹

1. 日時 令和7年6月24日（火）～7月4日（金）
2. 場所 呉市立三坂地小学校 5年1・2組教室
3. 学年 第5学年1組（合計27名）
2組（合計28名）

単元について

○単元観

本単元は小学校学習指導要領解説社会編 第5学年 内容（2）に示された、

- (2) 我が国の農業や水産業における食料生産について、学習の問題を追究・解決する活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
- ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
- (ア) 我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解すること。
- (イ) 食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解すること。
- (ウ) 地図帳や地球儀、各種の資料で調べ、まとめること。
- イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
- (ア) 生産物の種類や分布、生産量の変化、輸入など外国との関わりなどに着目して、食料生産の概要を捉え、食料生産が国民生活に果たす役割を考え、表現すること。
- (イ) 生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力を捉え、その働きを考え、表現すること。

を受けて設定したものである。

本単元を通して育成したい資質・能力は、「社会的事象について多角的に捉え、自らの考えを根拠や資料に基づいて分かりやすく説明したり、議論したりする力」である。本単元では、農業の具体事例として、山形県庄内平野、広島県安芸太田町の井仁の棚田、岡山県新庄村の米づくりを取り上げる。米は日本人の主食であり、米づくりに関わる人々が生産性や品質、付加価値を高めるよう努力したり、輸送方法や販売方法を工夫して良質な米を消費地に届けたりするなど、我が国の食料生産を支えていることに気付くことができる題材である。また、米農家等が抱える課題を手がかりとして、これからの農業の在り方について、生産者や消費者といった多様な立場から多角的に考え、説明や議論を通して自分の考えを再構成し、根拠に基づいて表現できるようになることをねらいとする単元である。

○児童観

児童は、昨年度の社会科の単元末テストでは、「知識・技能」に比べて「思考・判断・表現」に課題が見られた。特に、資料から必要な情報を読み取ったり、自分なりの意見をもったりすることはできるものの、複数の立場を踏まえて考えを筋道立てて記述したり、根拠を示して説明したりすることに困難を感じている児童が多い。また、話し合い活動においても「分かったことの共有」にとどまり、考えを深め合う場として機能していない場面が多く見られた。そのため、発言内容は事実の羅列や思いつきにとどまり、根拠を明確にした説明や議論をする力に課題が見られた。

こうした実態から、児童が社会的事象を多角的に捉え、他者との関わりを通して自らの考えを見直したり、再構成したりする学習を重ねることで、根拠や理由を明確にして表現できるようにすることが必要である。

○指導観

本単元では、社会的事象を多角的に捉え、根拠や資料に基づいて説明したり、議論したりする表現力の育成を目指す。指導に当たっては、五つの手立てを講じていく。

(1) 多角的な思考を促す学習内容と場面の工夫

庄内平野の生産性を高める米づくり、安芸太田町井仁の棚田に見られる景観を守る米づくり、岡山県新庄村の環境に配慮した無農薬栽培の米づくりなど、特色が異なる事例を取り上げる。また、JA職員、農業研究者、地域の農家、消費者といった米づくりに関わる多様な立場を扱い、資料を基に立場の違いを踏まえて考えられるようにする。資料を活用して個人やグループで情報を収集させ、その内容を付箋に書き出して整理・分類する活動を取り入れることで、社会的事象を一面的に捉えるのではなく、多角的に考えることができるようにする。

(2) 「説明する力」の育成をねらった活動

本単元では、第2、4、7時に説明する場面を設定する。児童は資料から得た情報を付箋に書き出し、それらを根拠として互いに説明し合う活動に取り組む。

第2時では、庄内平野に食味評価で特Aの米が多い理由について、自然条件と関連付けて考えさせる。その際、気温や日照時間、地形などの資料を基に説明させる。第4時では、JAの営農指導員や研究者の役割について資料を基に理解させ、米づくりを支える人々の働きと米づくりの諸課題とを関連付けて説明させる。第7時には、無農薬栽培に取り組む農家の資料を基に農家の努力や工夫を踏まえて説明させる。このように説明する場面を複数回設定し、根拠を明確にして説明する力の育成を図る。

(3) 「議論する力」の育成をねらった活動

本単元では、第3、5、8時に議論する場面を設定する。まず、資料から得た情報を付箋に書き出し、互いに説明し合う。その後、付箋を画用紙に貼って整理・分類する。次に、それらを根拠として自らの主張を画用紙に書き込み、主張と根拠を可視化した上で、議論を行う。

第3時では、「美しい風景を守る米づくりはこれからも続いていくのか。」という問いに対し、棚田に関する資料を基に景観保全の意義や課題について議論させる。第5時では、「生産者として、JAへの出荷と直接販売のどちらを選ぶか。」という問いに対し、流通や価格に関する資料を基に、各販路の特徴を比較し、費用や作業量に着目して議論させる。第8時では、「おいしい米をこれからも食べ続けるために一番大切なことは何か。」という問いに対し、本単元の学習内容を基に、自然の保護や景観の保全、農家の支援など立場を明確にして議論させる。

このように、議論する場面を複数回設定し、主張と根拠を可視化する活動と組み合わせることで、児童が立場や根拠を明確にして議論する力の育成を図る。

(4) 「みさかじカード」による自己調整支援の工夫

児童の学びの自己調整を促すツールとして、OECDのラーニング・コンパスで示されたAARサイクルに基づく「みさかじカード」(巻末資料)を開発し、単元を通して継続的に活用する。授業の導入では、本時のめあてや活動の流れを示し、「見通し」欄に、説明する力や議論する力に関する目標を記述させる。「さあ！行動」欄には、立てた目標に沿ってどのような行動をしたのかを記述させ、「かいぜん」欄には、成果や課題、その要因や改善点などを記述させ、自らの説明や議論といった表現を振り返らせることで、次時の学習へとつなげる。

(5) 教師によるフィードバックの工夫

児童の自己調整を促す手立てとして、「みさかじカード」に教師コメント欄を設け、毎時間フィードバックを行う。その際、フィードバックは評価や励ましにとどめるのではなく、児童が自ら立てた見通しと行動、振り返りとを結び付け、次時の学習に向けた改善の視点をもてるように指導する。

単元の目標及び評価規準

○単元の目標

我が国の農業における食料生産について、生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、地図帳や各種の資料で調べ、まとめ、食料生産に関わる人々の働きを考え表現することを通して、食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解できるようにするとともに、主体的に学習問題を追究・解決し、学習したことを基に、社会の一員として、これからの農業の発展について考えようとする態度を養う。

○単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解している。	① 生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力を考え、表現している。	① 我が国の農業における食料生産について、主体的に問題解決しようとしたり、学習したことを基に、これからの農業の発展について考えようとしたりしている。
② 食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解している。	② 学習したことを基に、食料生産と国民生活との関わりを捉え、これからの農業の発展について自分の考えをまとめ、表現している。	
③ 地図帳や各種の資料で必要な情報を調べ、まとめている。		

○単元計画（全8時間）

次	時	ねらい ○問い	説明や議論の内容	資料	評価規準 (評価方法) 【観点】
一	1	<p>山形の米に食味評価の特Aが多い理由を予想し、学習問題を作り、学習計画を立てることができるようにする。</p> <p>【興味を引き出す問い】 ○なぜ山形県では特Aの米が多く生産されているのか。</p>	<p>【説明する活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米袋や庄内平野の写真などの資料を基に本時の興味を引き出す問いについて予想し、付箋に自分の考えを書き出す。 ・グループでそれぞれの予想を、付箋を基に説明し合う。 ・出し合った付箋を分類・整理し、似た内容ごとにラベリングを行い、予想をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・写真「庄内平野の水田地帯」 ・実物「つや姫の米袋」 	<p>特Aの米が多い理由を予想し、学習計画を立て解決の見通しをもっている。</p> <p>(発言、画用紙) 【態①】</p>
<p>学習問題 わたしたちが食べる米はどのように生産されて届けられているのだろうか。</p>					
二	2	<p>庄内平野の気候や地形を調べることを通して、米の生産地と自然条件との関わりを理解することができるようにする。</p> <p>【興味を引き出す問い】 ○川と水田があるという地形の特徴は広町と似ているのに、なぜ庄内平野の方が特Aの米が多く生産されているのか。</p>	<p>【説明する活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特Aの米が多く生産される理由について、教科書や動画から関連する情報を見付け、付箋に書き出す。 ・グループで付箋を出し合い、地形や気候、自然条件の視点から共通点を見付けながら分類・整理しラベリングする。 ・本時の興味を引き出す問いについて画用紙に考えを書き込み、グループで説明し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「庄内平野の地形と気候の特色」 ・動画「米づくりがさかんな庄内平野」 	<p>庄内平野の自然条件を調べて、米づくりに適した地形と気候の利点について理解している。(画用紙) 【知①】</p> <p>庄内平野の地形と気候に着目して、庄内平野の米づくりのヒミツについて付箋の情報を根拠にして考えを分かりやすく説明している。(発言、画用紙) 【思①】</p>
	3	<p>耕地整理や農業機械などの技術の向上によって生産性が高まったことを理解するとともに、景観保全の米づくりについて調べることで、米づくりの生産性について考え、議論することができるようにする。</p> <p>【興味を引き出す問い】 ○なぜ米農家の労働時間が減っているのに生産性は上がっているのか。</p>	<p>【議論する活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「美しい風景を守る米づくり」について資料から生産の特徴を見付け、付箋に書き出す。 ・書き出した付箋の内容を説明し合い「よさ」と「課題」の視点で分類・整理する。 ・本時の議論を促す問いについて画用紙に考えを書き込み、グループで議論する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配付資料①「井仁の棚田～美しい風景を守る米づくり～」 	<p>井仁の棚田の美しい風景を守る米づくりの価値について、生産性の高い米づくりと比較しながら、付箋の情報を根拠にして議論している。(発言、画用紙) 【思②】</p>

	<p>【議論を促す問い】 ○美しい風景を守る米づくりは今後も続いていくのか。</p>			
4	<p>米づくりを支える人々について調べることを通して、消費者と生産者のニーズを意識して米づくりの支援や品種改良が行われていることを理解することができるようにする。</p> <p>【興味を引き出す問い】 ○なぜ米農家以外にも多くの人が米づくりに関わっているのか。</p>	<p>【説明する活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料から、米づくりに関わる人とその仕事内容を読み取り、付箋に書き出す。 ・グループで「米づくりに関わる人」と「仕事内容」の視点から付箋を分類・整理し、まとめる。 ・本時の興味を引き出す問いについて画用紙に考えを書き込み、グループで説明し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書「庄内平野の米づくりを支える人たち」 	<p>米づくりに関わる人々を調べて、JAや農業研究所の米づくりを支える役割についてまとめている。【知③】</p> <p>生産者や消費者にとってJAや農業研究所の関わりの利点について付箋の情報を根拠にして考えを分かりやすく説明している。 (発言、画用紙)【思①】</p>
5	<p>生産地から消費者に運ばれるまでの過程や輸送について知ることを通して、価格にそれぞれの費用が含まれていることを理解できるようにするとともに、農家が利用する販路によって利益が変わることを調べることで、農家の工夫や努力について考え、議論することができるようにする。</p> <p>【興味を引き出す問い】 ○販売価格は同じ約5,000円なのに、なぜJAを利用した場合と直売で農家の利益が違うのだろうか。</p> <p>【議論を促す問い】 ○生産者は、JAへの出荷と直売のどちらの売り方を選ぶとよいのか。</p>	<p>【議論する活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JAへの出荷と、直売の特徴を資料から読み取り、それぞれ付箋に書き出す。 ・グループで付箋を出し合い、「よさ」と「課題」の視点で分類・整理する。 ・整理した情報を基に、本時の議論を促す問いについて画用紙に主張を書き込み、グループで議論する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・配付資料②「米の流通と費用について」 	<p>生産地から消費者に運ばれるまでの過程や輸送について調べて、価格にどのような費用が含まれていることを理解している。 (画用紙)【知②】</p> <p>米をJAへ出荷する農家と直売で売る農家の考え方を基に、農家の工夫や努力について付箋の情報を根拠に考えをまとめている。 (画用紙)【思①】</p>
6	<p>これまで学習したことをまとめ、話し合うことを通して、特Aの米の生産には地形や気候といった自然条件や、農家の工夫や努力、技術の向上、関係機関</p>	<p>【説明する活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の興味を引き出す問いについて、これまでの学習で出てきたキーワードをグループで共通点ごとに分類・整理してまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに活用してきた資料 ・教科書 ・ノート 	<p>学習したことを基に、農業の仕組み、工夫や努力したことを分かりやすく説明している。(発言、画用紙) 【思①】</p>

		<p>の支援といった社会条件が関連していることを説明することができるようにする。</p> <p>【興味を引き出す問い】 ○特Aの米を生産する庄内平野には、どのようなヒミツがあったのか。</p>	<p>・キーワードを分類する際は、教科書や資料、ノートを振り返りながら、それぞれの内容を根拠にして説明する。</p>		
三	7	<p>これまで学習してきた農法とは異なる無農薬栽培米を作る農家について調べることを通して、農家の工夫や努力、願いや思いを説明することができるようにする。</p> <p>【興味を引き出す問い】 ○なぜ高い、難しい、少ない米づくりをしているのか。</p>	<p>【説明する活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無農薬栽培の米づくりの特徴を見付け、付箋に書き出す。 ・グループで「よいところ」と「困るところ」の視点で付箋を分類・整理する。 ・本時の興味を引き出す問いについて画用紙に考えを書き、グループで説明し合う。 	<p>・配付資料③「自然と地球の未来を守る米づくり」</p>	<p>岡山県新庄村の無農薬栽培の米づくりを調べ、特徴についてまとめている。(付箋)</p> <p>【知③】</p> <p>学習してきた農家との共通点や違いに着目し、無農薬栽培の米づくりの特徴について付箋の情報を根拠にして分かりやすく説明している。(発言、画用紙)</p> <p>【思①】</p>
	8	<p>これまでの学習を基に農業の課題を改善するために消費者にできることを話し合うことを通して、日本の農業の発展を考え、議論することができるようにする。</p> <p>【興味を引き出す問い】 ○これからの農業はどうなっていくのだろうか。</p> <p>【議論を促す問い】 ○これからもおいしい米を食べ続けるために、一番大切なことは何か。</p>	<p>【議論する活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の米農家が抱える問題を踏まえ、生産者や消費者の立場から、本時の興味を引き出す問いについて考え、これまでの学習を基に消費者の立場からできることを書き出す。 ・付箋を基に、本時の議論を促す問いについて画用紙に主張を書き込み、グループで議論する。 	<p>・これまで活用してきた資料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書 ・ノート 	<p>日本の農業の現状を改善することについて、学習したことを基に、消費者や生産者の立場から多角的に考え、付箋の情報を根拠にして議論している。(発言、画用紙)</p> <p>【思②】</p> <p>これから農業の発展について考えをまとめている。(画用紙)</p> <p>【態②】</p>

※ 各時間の冒頭において、「みさかじカード」の「見通し」欄に本時の目標や取組の見通しを記入させる。説明や議論などの表現活動を行った後、「さあ！行動」欄に、本時に取り組んだ具体的な行動を記入させる。さらに、授業の終末には、「かいぜん」欄にできたことや課題、次時に向けた改善点を記入させる。

本時の学習（第1時）

（1）本時の目標

山形の米に食味評価の特Aが多い理由を予想し、学習問題を作り、学習計画を立てることができる。

（2）観点別学習状況の評価規準

我が国の農業における食料生産について、主体的に問題解決しようとしたり、学習したことを基に、これからの農業の発展について考えようとしたりしている。【態①】

（3）本時の学習展開

学習活動	◎主発問 ・補助発問 ◇指導上の留意点	評価規準 (評価方法) 【観点】
1 気づきの交流と本時のめあての確認。(8分)		
<p>○令和6年度の米の生産量について知る。 《問題把握》</p> <p>○食味ランキングについて知り、順位を予想する。</p> <p>○本時の課題を設定する。</p>	<p>◇家庭で食べている米の産地を聞き、米の生産量のランキングの上位を予想させる。 ・どの都道府県が米の生産量ランキングの上位でしょうか。</p> <p>◇米の生産量と食味ランキングの結果から疑問を引き出し、庄内平野の米づくりに関心をもたせる。</p> <p>◇生産量と食味ランキングの順位の違いからずれを生み出し、本時の課題へとつなげる。</p> <p>◎なぜ山形県では特Aの米が多く生産されているのでしょうか。 【興味を引き出す問い】</p>	
めあて 山形県で特Aの米が多く生産されるヒミツを予想しよう。		
	<p>◇みさかじカードの「見通し」欄に表現に関する目標を記述させる。</p>	
2 問題解決をする。(27分)		
<p>○山形県で特Aの米が多く作られている理由を予想する。 《個人思考》</p> <p>○グループで交流する。 《集団思考》</p>	<p>◇庄内平野の航空写真や、山形県の特Aに選ばれている品種である「つや姫」の米袋（実物）から庄内平野の米づくりのヒミツを予想させ、付箋に書き出させる。 ・山形県の庄内平野の様子や、米袋からヒミツを予想してみましよう。</p> <p>◇活動の手順、話し合いルールを説明しモニターに提示しておく。</p> <p>◇根拠を示しながら予想を説明させ、その後、画用紙に貼らせる。</p>	

<p>○全体で交流する。 《集団思考》</p>	<p>◇付箋を共通点や違いに注目させ、分類させ、ラベリングを行わせる。</p> <p>◇グループで整理した画用紙を黒板に提示し、全体で共有させた後、共通しているキーワードを見付けさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全てのグループで共通しているキーワードは何ですか。 <p>◇みさかじカードの「さぁ！行動」欄に本時の表現に関わる取組を記述させる。</p>	
<p>3. 学習のまとめ・振り返りをする。(10分)</p>		
<p>○本時の学習をまとめる。</p>	<p>◇これからどのようなことを調べていけば米づくりに関する課題の解決につながるのかを画用紙の予想を基に考えさせることで、今後の学習の見通しをもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのようなことを調べていけば、山形県に特Aの米が多くできるヒミツが分かりそうですか。 	<p>特Aの米が多い理由を予想し、学習計画を立て解決の見通しをもっている。 (発言、画用紙) 【態①】</p>
<p>まとめ 庄内平野の地形や田んぼ、農家の工夫や努力にヒミツがありそう。これらについてこれから調べていく。</p>		
<p>○本時の振り返りをする。</p>	<p>◇振り返りの視点で本時の学習を振り返らせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の学びを振り返りましょう。 	

本時の学習（第2時）

（1）本時の目標

庄内平野の気候や地形を調べることを通して、米の生産地と自然条件との関わりを理解することができる。

（2）観点別学習状況の評価規準

我が国の食料生産は、自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解している。【知①】

食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解している。【思①】

（3）学習の展開（第2時／全8時）

学習活動	◎主発問 ・補助発問 ◇指導上の留意点	評価規準 (評価方法) 【観点】
1 本時のめあての確認。(5分)		
<p>○米づくりが盛んな地域の様子について知る。 《問題把握》</p> <p>○本時の課題を設定する。</p>	<p>◇学校の近くの水田の様子が分かる写真を提示し、庄内平野の水田と様子が似ていることに気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どちらが庄内平野の田んぼでしょうか。 <p>◇川と田の様子以外の米づくりに関係する自然条件に気付かせるため、学校付近の水田と比較させ、ずれを生み出し、本時の課題へとつなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川と広い場所があれば、特Aの米が作ることができるなら特Aの米は広町でもできますか。 <p>◎川と水田があるという特徴は広町と似ているのに、なぜ庄内平野の方が特Aの米が多く生産されているのでしょうか。 【興味を引き出す問い】</p>	
めあて 庄内平野の自然や地形にはどのようなヒミツがあるのか調べよう。		
	<p>◇みさかじカードの「見通し」欄に表現に関する目標を記述させる。</p>	
2 問題解決をする。(30分)		
<p>○庄内平野の自然や地形にどのようなヒミツがあるのか予想し、確認する。 《個人思考》</p>	<p>◇前時に話し合った予想から、自然条件に関連する項目を再確認し、本時の見通しをもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄内平野の自然には、どのようなヒミツがありそうですか。 	

<p>○庄内平野の自然条件について調べる。</p> <p>《個人思考》</p>	<p>◇個人で付箋に資料で調べた自然条件を記述させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見つけた自然に関するヒミツは付箋に書きましょう。 	<p>庄内平野の自然条件を調べて、米づくりに適した地形と気候の利点について理解している。(画用紙)</p> <p>【知①】</p>
<p>○グループ交流をする。</p> <p>《集団思考》</p>	<p>◇庄内平野の自然条件について教科書やタブレットを見せるなど、根拠を示しながら説明させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄内平野の自然や地形のヒミツについて、教科書やタブレットを見せながら説明しましょう。 	
<p>○全体交流をする。</p> <p>《集団思考》</p>	<p>◇見つけた自然条件を記述した付箋をグループで協力し、仲間分けしたり、ラベリングしたりして画用紙にまとめさせる。</p> <p>◇グループで話し合った画用紙を共有し、共通しているキーワードを見付けさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄内平野の自然や地形には、どのようなヒミツがありましたか。 <p>◇みさかじカードの「さあ！行動」欄に本時の表現に関わる取組を記述させる。</p>	

3. 学習のまとめ・振り返りをする。(10分)

<p>○本時のまとめを行う。</p>	<p>◇庄内平野の自然と地形の特徴についてまとめさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の説明の根拠になる付箋に丸をつけて、庄内平野のヒミツを各自画用紙に書きましょう。 	<p>庄内平野の地形と気候に着目して、庄内平野の米づくりのヒミツについて付箋の情報を根拠にして考えを分かりやすく説明している。</p> <p>(発言、画用紙)</p> <p>【思①】</p>
--------------------	--	---

まとめ 庄内平野には、水が豊か、気温差が大きい、季節風が吹くなどの米づくりに適した条件がそろっている。

<p>○本時の振り返りをする。</p>	<p>◇みさかじカードの「かいぜん」欄に今日の表現や学び方について振り返らせ記述させる。</p>	
---------------------	--	--

本時の学習（第3時）

（1）本時の目標

耕地整理や農業機械などの技術の向上によって生産性が高まったことを理解するとともに、景観保全の米づくりについて調べることで、米づくりの生産性について考え、議論することができるようにする。

（2）観点別学習状況の評価規準

食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解している。【思②】

（3）学習の展開（第3時／全8時）

学習活動	◎主発問 ・補助発問 ◇指導上の留意点	評価規準 (評価方法) 【観点】												
1 本時のめあての確認。(5分)														
<p>○農家の人々の労働時間の変化を知る。 《問題把握》</p> <p>○機械化や効率化によって労働時間が大幅に減った事実を知る。 ・耕地整理の写真 ・機械化の写真 ・生産性を高める作業の写真</p> <p>○生産性を高める米づくりと井仁の棚田の米づくりの特徴を比較する。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>庄内平野</td> <td>井仁の棚田</td> </tr> <tr> <td>耕地整理</td> <td>している</td> <td>していない</td> </tr> <tr> <td>機械化</td> <td>大型</td> <td>小型・手作業</td> </tr> <tr> <td>生産性</td> <td>高い</td> <td>低い</td> </tr> </table> <p>○本時の課題を設定する。</p>		庄内平野	井仁の棚田	耕地整理	している	していない	機械化	大型	小型・手作業	生産性	高い	低い	<p>◇「労働時間の変化」と「米の生産量の推移」が分かるグラフを提示し、労働時間が昔に比べて短縮されていることや生産量が増加していることに気付かせ、その理由を予想させる。 ・なぜ米農家の労働時間が減っているのに生産性は上がっているのでしょうか。 【興味を引き出す問い】</p> <p>◇昔の米づくりと現在の米づくりの写真を提示し、違いを見付けさせる。 ・昔と今の米づくりはどんな違いがありますか。</p> <p>◇「耕地整理」「水路」「機械化」「生産性」の視点で比較させ、特徴を整理する。 ◇生産性を高めている米づくりと昔ながらの生産方法で景観を守る米づくりを比較することで、ずれを生み出し、本時の課題へとつなげる。 ・なぜ、生産性の高くない米づくりを続けているのでしょうか。</p>	
	庄内平野	井仁の棚田												
耕地整理	している	していない												
機械化	大型	小型・手作業												
生産性	高い	低い												
めあて 米づくりの生産性について考えよう。														
	<p>◇みさかじカードの「見通し」欄に表現に関する目標を記述させる。</p>													

2 問題解決をする。(30分)

○「井仁の棚田」の特徴について調べる。

《個人思考》

- ・「日本の棚田 100 選」
- ・「日本の美しい風景 31 選」
- ・棚田体験

○グループで交流する。

《集団思考》

○生産性の高くない井仁の棚田の価値について議論する。

《集団思考》

◇井仁の棚田は、「日本の美しい風景31選」や「日本の棚田100選」といった美しい景色を守るために米づくりを行っていることやその裏にある課題にも気付かせる。

- ・井仁の棚田にはどんな特徴があるのか調べましょう。

◇調べた井仁の棚田の特徴を付箋に記述させる。

◇画用紙に根拠となる付箋を貼りながら、井仁の棚田の特徴を整理してまとめさせる。

◇休耕田が増えている事実を知らせ、生産性が高くない井仁の棚田の価値について議論させる。

◎美しい風景を守る米づくりは今後も続いていくのでしょうか。

【議論を促す問い】

◇対立で終わらせるのではなく、「続けていくにはどうすればいいのだろうか」という視点を持たせ、発展的な議論を促す。

- ・棚田の美しい風景を守っていくにはどうしたらよいのでしょうか。

◇みさかじカードの「さあ！行動」欄に本時の表現に関わる取組を記述させる。

井仁の棚田の美しい風景を守る米づくりの価値について、生産性の高い米づくりと比較しながら、付箋の情報を根拠にして議論している。

(発言、画用紙)

【思②】

3 学習のまとめ・振り返りをする。(10分)

○本時のまとめを行う。

《個人思考》

○本時の振り返りをする。

◇井仁の棚田の価値について、生産性を高める米づくりとの違いに着目させてまとめさせる。

- ・米づくりの生産性について、井仁の棚田の米づくりと庄内平野の米づくりとを比べながら画用紙に書きましょう。

◇みさかじカードの「かいぜん」欄に今日の表現や学び方について振り返らせ記述させる。

本時の学習（第4時）

（1）本時の目標

米づくりを支える人々について調べることを通して、消費者と生産者のニーズを意識して米づくりの支援や品種改良が行われていることを理解することができる。

（2）観点別学習状況の評価規準

地図帳や各種の資料で必要な情報を調べ、まとめている。【知③】

生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力を考え、表現している。【思①】

（3）学習の展開（第4時／全8時）

学習活動	◎主発問 ・補助発問 ◇指導上の留意点	評価規準 (評価方法) 【観点】
1 本時のめあての確認。(5分)		
○一年間の米づくりの様子を知る。 《問題把握》	◇米づくりの一年間の様子を写真を提示しながら確認する。 ◇生産の過程の中で、米づくりを行う農家の姿のみが写る作業写真を提示し、児童が普段米づくり体験で関わっているJAの方の存在意義を問うことで、ずれを生み出し、本時の課題につなげる。 ◎なぜ米農家以外にも多くの人が米づくりに関わっているのでしょうか。 【興味を引き出す問い】	
○米づくりに関わっている人たちを予想する。 《個人思考》	◇米づくりに関わっている人々の写真を提示し、どんなことをしている人たちなのか予想させる。 ・この人たちは一体どんな人で何をしているのでしょうか。	
○本時の課題を設定する		
めあて 特Aの米「つや姫」に多くの人に関わっている理由を調べよう。		
	◇みさかじカードの「見通し」欄に表現に関する目標を記述させる。	

2 問題解決をする。(28分)

<p>○米づくりに関わっている人々について調べる。 《個人思考》</p>	<p>◇教科書、タブレット(動画)を使って調べさせる。 ◇付箋に「米づくりに関わっている人々」や「役割」を記述させる。</p>	<p>米づくりに関わる人々を調べて、JAや農業研究所の米づくりを支える役割についてまとめている。(付箋) 【知③】</p>
<p>○グループ交流をする。 《集団思考》</p>	<p>◇調べた情報を根拠として説明し、グループで協力し、仲間分けしたり、ラベリングしたりしながら画用紙にまとめさせる。</p>	<p>生産者や消費者にとってJAや農業研究所の関わりの利点について付箋の情報を根拠にして考えを分かりやすく説明している。(発言、画用紙) 【思①】</p>
<p>○全体交流をする。 《集団思考》</p>	<p>◇グループで出た意見を発表させ、クラゲチャートで黒板に整理する。 ◇みさかじカードの「さあ！行動」欄に本時の表現に関わる取組を記述させる。</p>	

3 学習のまとめ・振り返りをする。(12分)

<p>○近年開発された米の特徴を知り、現在の米づくりの傾向を知る。 ○本時のまとめを行う。 《個人思考》</p>	<p>◇JAが推奨している米の違いから、地域ごとに気候や土地に合った米づくりが行われていることに気付かせ、知識を一般化させる。 ◇特Aの米づくりを支えている人々について付箋を根拠にまとめさせる。 ・特Aの米づくりは誰がどのようにして支えていましたか。各自画用紙にまとめましょう。</p>	
<p>まとめ JAや農業研究所などが消費者や生産者のニーズに合わせて米づくりに関わっている。</p>		
<p>○本時の振り返りをする。</p>	<p>◇みさかじカードの「かいぜん」欄に今日の表現や学び方について振り返らせ記述させる。</p>	

本時の学習（第5時）

（1）本時の目標

生産地から消費者に運ばれるまでの過程や輸送について知ることを通して、価格にそれぞれの費用が含まれていることを理解するとともに、農家が利用する販路の工夫によって利益が変わることを調べることで、農家の工夫や努力について考え、議論することができる。

（2）観点別学習状況の評価規準

食料生産に関わる人々は、生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質な食料を消費地に届けるなど、食料生産を支えていることを理解している。【知②】

生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力を考え、表現している。【思①】

（3）学習の展開（第5時／全8時）

学習活動	◎主発問 ・補助発問 ◇指導上の留意点	評価規準 (評価方法) 【観点】										
1 本時のめあての確認。(10分)												
<p>○米がどうやって私たちのもとに届いているのか予想する。 《問題把握》</p> <p>○地域の農家の方からのメッセージを読む。</p> <p>○JAを利用する場合と直売所で販売する場合の農家の利益の違いを知る。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">販売方法</th> <th style="width: 25%;">店頭価格</th> <th style="width: 60%;">農家利益</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center;">JA利用</td> <td style="text-align: center;">約5,000円</td> <td rowspan="2" style="text-align: center;">約2,000円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">買取価格 約2,000円</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">直売所 (地産地消 コーナー)</td> <td style="text-align: center;">約5,000円 販売手数料 約500円</td> <td style="text-align: center;">約4,500円</td> </tr> </tbody> </table> <p>○本時の課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0; text-align: center;"> めあて 私たちのもとに米が届くまでの流通と費用について考えよう。 </div>	販売方法	店頭価格	農家利益	JA利用	約5,000円	約2,000円	買取価格 約2,000円	直売所 (地産地消 コーナー)	約5,000円 販売手数料 約500円	約4,500円	<p>◇自分の経験や既習を生かして、米が農家から食卓に届くまでの過程を予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米はどのようにして私たちのもとに届くのでしょうか。 <p>◇広島県の農家の方からのメッセージを読み、米を出荷する際にJAを利用したり、スーパーの地産地消コーナーで販売したりすることができることに気付かせる。</p> <p>◇地域の農家の方がJAを利用した際の米の買取価格と直売で米を販売した際の販売価格の違いをスライドで提示し、ずれを生む。</p> <p>◎販売価格は同じ約5,000円なのに、なぜJAを利用した場合と直売で農家の利益が違うのでしょうか。 【興味を引き出す問い】</p>	
販売方法	店頭価格	農家利益										
JA利用	約5,000円	約2,000円										
	買取価格 約2,000円											
直売所 (地産地消 コーナー)	約5,000円 販売手数料 約500円	約4,500円										
	<p>◇みさかじカードの「見通し」欄に表現に関する目標を記述させる。</p>											

2 問題解決をする。(30分)

<p>○米の流通と費用について調べる。 《個人思考》</p>	<p>◇資料を基に J A を通して私たちのもとに届く過程を調べさせ、付箋に書かせる。</p> <p>◇ J A を利用する場合と直売で販売することの生産者にとってのメリット、デメリットを確認させる。</p>	<p>生産地から消費者に運ばれるまでの過程や輸送について調べて、価格にどのような費用が含まれていることを理解している。(画用紙)【知②】</p>
<p>○グループで交流する。 《集団思考》</p>	<p>◇画用紙に根拠となる付箋を貼りながら、J A を通す流通の過程を整理してまとめさせる。</p>	
<p>○ J A を利用する売り方と、直売の価値について議論する。 《集団思考》</p>	<p>◇付箋を根拠に自分の主張を画用紙に書き込ませる。</p> <p>・生産者は、J A への出荷と直売のどちらの売り方を選ぶとよいのでしょうか。 【議論を促す問い】</p>	<p>米を J A へ出荷する農家と直売で売る農家の考え方を基に、農家の工夫や努力について付箋の情報を根拠に考えをまとめている。(画用紙) 【思①】</p>
<p>○全体で交流する。 《集団思考》</p>	<p>◇根拠となる資料を示しながら議論させる。その際、考えを書き加えたり、修正したりさせる。</p> <p>◇各グループでどのような意見が出たのか発表させ、全体で考えを共有する。</p> <p>◇みさかじカードの「さあ！行動」欄に本時の表現に関わる取組を記述させる。</p>	

3 学習のまとめ・振り返りをする。(10分)

<p>○本時のまとめを行う。 《個人思考》</p>	<p>◇食卓に米が届くまでの流通と費用について「J A 利用」「直売」というキーワードを使ってまとめさせる。</p>	
<p>まとめ 米の価格には輸送費や管理費が米の価格に含まれていて、農家は J A を利用したり、直売をしたり工夫しながら販売している。</p>		
<p>○本時の振り返りをする。</p>	<p>◇みさかじカードの「かいぜん」欄に今日の表現や学び方について振り返らせ記述させる。</p>	

本時の学習（第6時）

（1）本時の目標

これまで学習したことをまとめ、話し合うことを通して、特Aの米が地形や気候といった自然条件や、農家の工夫や努力、技術の向上、関係機関の支援といった社会条件が関連していることを説明することができる。

（2）観点別学習状況の評価規準

生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力を考え、表現している。【思①】

（3）学習の展開（第6時／全8時）

学習活動	◎主発問 ・補助発問 ◇指導上の留意点	評価規準 (評価方法) 【観点】																		
1 本時のめあての確認。(10分)																				
<p>○これまでの学習を振り返る。 《集団思考》</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin: 10px 0;"> <tr> <td style="text-align: center;">水の管理</td> <td style="text-align: center;">カントリーエレベーター</td> <td style="text-align: center;">鳥海山</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">日向川</td> <td style="text-align: center;">最上川</td> <td style="text-align: center;">庄内平野</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">気温差</td> <td style="text-align: center;">日照時間</td> <td style="text-align: center;">季節風</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">耕地整理</td> <td style="text-align: center;">機械化</td> <td style="text-align: center;">JA</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">農業研究所</td> <td style="text-align: center;">品種改良</td> <td style="text-align: center;">直売</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ブランド米</td> <td style="text-align: center;">農薬</td> <td style="text-align: center;">トラック・鉄道</td> </tr> </table> <p>○本時の課題を設定する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px 0;"> めあて 特Aの米を生産する庄内平野のヒミツをまとめよう。 </div>	水の管理	カントリーエレベーター	鳥海山	日向川	最上川	庄内平野	気温差	日照時間	季節風	耕地整理	機械化	JA	農業研究所	品種改良	直売	ブランド米	農薬	トラック・鉄道	<p>◇これまでの学習で出てきた米づくりに関わるキーワードを確認する。</p> <p>◎特Aをたくさん作る庄内平野の米づくりにはどんなヒミツがありましたか。 【興味を引き出す問い】</p>	
水の管理	カントリーエレベーター	鳥海山																		
日向川	最上川	庄内平野																		
気温差	日照時間	季節風																		
耕地整理	機械化	JA																		
農業研究所	品種改良	直売																		
ブランド米	農薬	トラック・鉄道																		
	<p>◇みさかじカードの「見通し」欄に表現に関する目標を記述させる。</p>																			
2 問題解決をする。(25分)																				
<p>○キーワードをもとに、庄内平野の米づくりのヒミツを整理する。 《個人思考》</p> <p>○グループで交流する。 《集団思考》</p>	<p>◇タブレットを活用し、自分でキーワードを仲間分けし、ラベリングする。その際、他のキーワードがあれば追加させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キーワードを仲間分けしてラベリングしてみましょう。 <p>◇これまでの学習した内容（タブレット資料やノート）を根拠として示しながら自分の仲間分けした理由について説</p>																			

本時の学習（第7時）

（1）本時の目標

これまで学習してきた慣行農法とは異なる無農薬栽培の米を作る農家について調べることを通して、農家の工夫や努力、願いや思いを説明することができる。

（2）観点別学習状況の評価規準

地図帳や各種の資料で必要な情報を調べ、まとめている。【知③】

生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して、食料生産に関わる人々の工夫や努力を考え、表現している。【思①】

（3）学習の展開（第7時／全8時）

学習活動	◎主発問 ・補助発問 ◇指導上の留意点	評価規準 (評価方法) 【観点】
1 本時のめあての確認。(5分)		
<p>○無農薬栽培の米づくりの存在を知る。 《問題把握》</p> <p>◇スーパーで販売されている米の価格と無農薬栽培の米の価格を提示し、販売価格の理由を予想させる。 ・なぜスーパーで販売されている米の約7倍の価格で米を売っているのでしょうか。</p> <p>◇無農薬栽培の米づくりの特徴を慣行農法の米づくりと比較し、ずれを生み出し課題へつなげる。 ◎なぜ高い、難しい、少ない米づくりをしているのでしょうか。 【興味を引き出す問い】</p> <p>◇約7倍で売られている米のヒミツについて理由を予想させる。 ・約7倍になる米のヒミツを予想してみよう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">めあて 約7倍の価格で売られる米のヒミツを調べよう。</p> </div> <p>◇みさかじカードの「見通し」欄に表現に関する目標を記述させる。</p>	<p>○無農薬栽培の米づくりの存在を知る。 《問題把握》</p> <p>◇スーパーで販売されている米の価格と無農薬栽培の米の価格を提示し、販売価格の理由を予想させる。 ・なぜスーパーで販売されている米の約7倍の価格で米を売っているのでしょうか。</p> <p>◇無農薬栽培の米づくりの特徴を慣行農法の米づくりと比較し、ずれを生み出し課題へつなげる。 ◎なぜ高い、難しい、少ない米づくりをしているのでしょうか。 【興味を引き出す問い】</p> <p>◇約7倍で売られている米のヒミツについて理由を予想させる。 ・約7倍になる米のヒミツを予想してみよう。</p>	<p>○無農薬栽培の米づくりの存在を知る。 《問題把握》</p> <p>◇スーパーで販売されている米の価格と無農薬栽培の米の価格を提示し、販売価格の理由を予想させる。 ・なぜスーパーで販売されている米の約7倍の価格で米を売っているのでしょうか。</p> <p>◇無農薬栽培の米づくりの特徴を慣行農法の米づくりと比較し、ずれを生み出し課題へつなげる。 ◎なぜ高い、難しい、少ない米づくりをしているのでしょうか。 【興味を引き出す問い】</p> <p>◇約7倍で売られている米のヒミツについて理由を予想させる。 ・約7倍になる米のヒミツを予想してみよう。</p>
2 問題解決をする。(35分)		
<p>○無農薬栽培の米づくりの特徴について調べる。 《個人思考》</p>	<p>◇資料を基に無農薬栽培の米づくりの特徴を調べさせ、付箋に書かせる。</p>	<p>岡山県新庄村の無農薬栽培の米づくりを調べ、特徴についてまとめている。(付箋)【知③】</p>

<p>○グループで交流する。</p> <p style="text-align: center;">《集団思考》</p> <p>○生産者の話を聞く。(動画)</p>	<p>◇これまで学習してきたことを根拠として付箋に書いたことを説明し、グループで仲間分けさせ、ラベリングさせる。</p> <p>◇みさかじカードの「さあ！行動」欄に本時の表現に関わる取組を記述させる。</p> <p>◇無農薬栽培の米づくりを行う農家から、生産への思いや願いを聞き、画用紙や付箋に、生産者から聞いた情報を付け加える。</p>	
--	---	--

3. 学習のまとめ・振り返りをする。(8分)

<p>○本時のまとめを行う。</p> <p style="text-align: center;">《個人思考》</p>		<p>学習してきた農家との共通点や違いに着目し、無農薬栽培の米づくりの特徴について付箋の情報を根拠にして分かりやすく説明している。</p> <p>(発言、画用紙)</p> <p style="text-align: right;">【思①】</p>
--	--	---

まとめ 無農薬栽培の米づくりは、自然の環境を守りたい、おいしい米を食べ
てほしいという思いから努力や工夫をしながら作っている。

<p>○本時の振り返りをする。</p>	<p>◇みさかじカードの「かいぜん」欄に今日の表現や学び方について振り返らせ記述させる。</p>	
---------------------	--	--

本時の学習（第8時）

（1）本時の目標

これまでの学習を基に農業の課題を改善するために消費者にできることを話し合うことを通して、日本の農業の発展を考え、議論することができる。

（2）観点別学習状況の評価規準

学習したことを基に、食料生産と国民生活との関わりを捉え、これからの農業の発展について自分の考えをまとめ、表現している。【思②】

我が国の農業における食料生産について、主体的に問題解決しようとしたり、学習したことを基に、これからの農業の発展について考えようとしたりしている。【主①】

（3）学習の展開（第8時／全8時）

学習活動	◎主発問 ・補助発問 ◇指導上の留意点	評価規準 (評価方法) 【観点】
1 本時のめあての確認。(8分)		
<p>○これまで学習した米づくりについて振り返る。</p> <p>○現在の農業を取り巻く課題について知らせる。 《問題把握》</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="margin: 0;">生産・消費の減少</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化→生産者が減る ・耕作放棄地増加→生産量が減る ・米の消費量減少→生産者・生産量が減る </div> <p>○本時の課題を設定する。</p>	<p>◇これまで学習してきた慣行農法と風景を守る米づくり、有機農法について確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本ではどのような米づくりが行われてきていましたか。 ・共通している思いは何か。 <p>◇現在話題になっている「耕作放棄地の増加」「米の消費量減少」「高齢化」を知らせ、農業には、多くの課題が存在していることに気付かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの農業はどうなっていくのでしょうか。 【興味を引き出す問い】 	
<p>めあて これからの米づくりについて考えよう。</p>		
	<p>◇みさかじカードの「見通し」欄に表現に関する目標を記述させる。</p>	
2 問題解決をする。(25分)		
<p>○自分の主張を付箋に書く。 《個人思考》</p>	<p>◇これまでの学習した内容を基に「これからもおいしい米を食べ続けるために、大切なこと」を消費者と生産者の立場から考えさせ、付箋に主張を書かせる。</p> <p>◎これからもおいしい米を食べ続けてい</p>	

<p>○グループで考えを交流する。 《集団思考》</p> <p>○これからの米づくりに大切なことについて生産者と消費者の立場から議論する。 《集団思考》</p>	<p>くために一番大切なことは何でしょうか。 【議論を促す問い】</p> <p>◇これまでの学習で使用した資料や教科書などの根拠をもとに、自分の考えを説明させる。</p> <p>◇これからもおいしい米を食べ続けるために、一番大切なことは何かグループで議論させる。</p> <p>・これからもおいしい米を食べ続けるために、どの考えが一番大切ですか。</p>	<p>日本の農業の現状を改善することについて、学習したことを基に、消費者や生産者の立場から多角的に考え、付箋の情報を根拠にして議論している。 (発言、画用紙) 【思②】</p>
<p>〈生産者の立場〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地球を守るために、環境にやさしい米づくりを続ける。 ・生産量の高い米づくりと、風景や環境を守る米づくりをこれからも両方続ける。 ・機械化で、米づくりの負担を減らしていく。 ・イベントを増やし、農業に興味をもってもらう人を増やす。 <p>〈消費者の立場〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米づくりの人たちのことを思いながらご飯を食べる。 ・ご飯をしっかり食べて消費を増やす。 ・米をつくっている方々に感謝の気持ちをもって食べる。 	<p>○全体で交流をする。 《集団思考》</p> <p>◇班でまとめた意見や個人の意見を交流し、生産者、消費者の立場で考えを発表させる。</p> <p>◇みさかじカードの「さあ！行動」欄に本時の表現に関わる取組を記述させる。</p>	
<p>3 学習のまとめ・振り返りをする。(12分)</p>		
<p>○本時のまとめを行う。</p>	<p>◇議論や全体交流を通して、おいしい米を食べ続けるために、大切にしたいことを「生産者」「消費者」というキーワードを使ってまとめさせる。</p>	<p>これから農業の発展について考えをまとめている。 (画用紙) 【態②】</p>
<p>まとめ 農業に関わっている人の負担を減らしたり、私たちが米の消費を増やしたりすることで、これからもおいしい米が食べ続けられるだろう。</p>		
<p>○本時の振り返りをする。</p>	<p>◇みさかじカードの「かいぜん」欄に今日の表現や学び方について振り返らせ記述させる。</p>	

【配付資料①】

第3時間目「井仁のたな田～美しい風景を守る米づくり～」

井仁のたな田 ～美しい風景を守る米づくり～

広島県の北のほうに、「井仁(いに)のたな田」という美しい田んぼがあります。このたな田は、山の斜面(しゃめん)を石で支えて作られた、小さな田んぼが何段もつらなっている場所です。

井仁のたな田は、今から約500年ほど前に作られたと言われていいます。人びとは山を切り開き、出てきた石を一つひとつ手で積んで、田んぼを作りました。一番古い石垣(いしがき)は、戦国時代のもの(約500年前)と考えられています。

しかし、井仁のたな田は**広さがせまく**、庄内平野の広さの約1/1,000しかありません。そのため、**たくさんの米はとれません**が、昔からのやり方や**美しい風景**を大切に守っています。

このたな田は、その美しさから1999年に「日本のたな田100選」に広島県でただ一つ選ばれました。さらに、今も**地域の人たちがたな田を守るためにがんばっている**ことが評価されて、「つなぐたな田遺産」という認定も受けました。

また、外国のニュース番組が、「日本の最も美しい場所」として、世界遺産の厳島神社とともに、この「井仁のたな田」を紹介しました。そのため、日本だけでなく、**世界の人にも知られている場所**なのです。

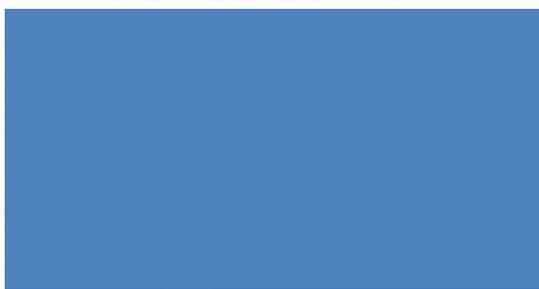
春と秋には、「たな田体験会」が行われます。都市に住む人たちといっしょに、昔ながらのやり方で田植えや稲刈りを体験するイベントです。地域の人と交流し、**たな田の美しい風景を守る大切さを感じるイベント**が開かれています。井仁のたな田では、ただお米を作っているだけでなく、**自然の風景や地域の人とのつながり**もいっしょに守っています。

しかし、現在は、**地域の高齢化が進んでいる**ため、**農家が少なくな**ってきており、**使われなくなった田んぼ**が増えてきています。また、山の斜面にある田んぼは、大きな機械が入れないため、**手作業での作業が多い**です。そのため、**米づくりが負担**となって続けることが難しくなっています。

① たな田の様子



② 稲刈り体験(交流イベント)



③ たな田体験(外国からのかんこう客)



【配付資料②】

第5時間目「お米の流通と費用について」

いいね！日本の米づくり
～米づくりのさかんな地域⑤～

お米の流通と費用について

お米ができるまでには、**たくさん**の手間とお金がかかり、さらに売り方によっても、**かかる費用や農家にのこる利益(りえき)**がちがってきます。

まず、お米を育てるには、田んぼをたがやしたり、苗を植えたり、水の管理や草とり、刈かきなど、**たくさん**の作業が必要です。**肥料や農薬、機械や機械を動かす燃料**にもお金がかかります。こうしたお米にかかるお金のことを「**費用(ひょう)**」といいます。

多くの農家では、つくったお米を「農業協同組合(JA)」という農業のグループに出します。JAでは、お米の**品質をチェック**し、「**カンントリーエレベーター**」という大きな施設で**お米をかわかし**たり、きれいに**したりする作業**を行います。その後は、「**低温倉庫**」という温度と湿度が調整できる特別な倉庫で**お米を保存**し、**必要なとき**にお店へ出荷します。

JAを通すと、**自分で売**る手間がなくなり、**お米の管理や販売**もまかせられるので安心です。

JAは、農家からお米をまとめて買い取りますが、その価格は、**運ぶ費用や保管にかかる費用**などをふまえて決められています。

そのため、**農家が受け取るお金は、自分で売**る場合より少なくなることもありますが、**販売や保存の手間**をすべてまかせられるという**大きな安心**があります。

一方、「**直売(ちよくばい)**」という方法では、**農家が自分でお客さんにお米を売**ります。スーパーや道の駅、直売所、インターネットなどを使って販売することで、**運ぶ費用や保管にかかる費用**があまりかからず、**売れたお金の多く**を自分が受け取ることができます。しかし、直売では、**宣伝や袋づめ、運ぶ作業**だけでなく、お米を保存するための**広い場所**や、**大きな冷蔵庫**を**自分で用意**して**管理**することも必要です。もらえるお金は多くても、**それだけ手間や負担**が増えるのです。

① カントリーエレベーター



② JAの低温倉庫の様子



③ スーパーの直売コーナー



【配付資料③】

第7時間目「自然と地球の未来を守る米づくり」

いいね！日本の米づくり
～米づくりのさかんな地域⑦～

自然と地球の未来を守る米づくり

岡山県の新庄村（しんじょうそん）は、山にかこまれた自然ゆたかな地域です。この村には、「Full Back（フルバック）」という会社があり、そこで働く坂本さんは、**農業や化学肥料を使わない「無農薬米（むのうやくまい）」**をつくっています。農業はたくさん使すぎると、人の体、川や土などの自然、生き物にわるいことがおこったりします。そこで、農業を使う代わりに、田んぼに**アイガモ**を田んぼに入れて、草や虫をへらしています。農業を使わずに、**自然の力をかりて田んぼを守る**ことで、**ゆたかな水や土をよこさず、まわりの生き物にもやさしい米づくり**を行っています。こうした川や森といった自然とともに**行う農業は、地球の未来の環境を守る**ことにもつながっています。さらに、坂本さんは、春と秋に**田植えや稲かりの体験イベント**を開いています。

都市部に住む人や子どもたちが田んぼでの作業を体験し、**自然のすばらしさや農業の大切さ**を知ってもらおう場をつくっています。このように、**人と人、自然と人とのつながりを大切に**することも、坂本さんの米づくりの大きな特ちょうです。

一方で、こうした米づくりには、大変なこともあります。農業を使わないため、**草とりや虫の対策に時間や手間**がかかったり、**稲が病気**になったりすることがあり、**作業が大変**です。手作業が多いため、**作るのにお金もかかります**。また、一つ一つ稲をていねいに大切に育てているため、**お米のとれる量は多くありません**。それでも、**自然と人が助け合う米づくり**を大切に、**未来に米づくりや自然をつなげよう**と努力しています。



フルバックの坂本さん

① 農業を使わない除草作業



② 自然そのものの力をいかす



③ 虫や草をへらすアイガモ



【巻末資料】

児童の学びの自己調整を促すツール「みさかじカード」

<p>見通し</p> <p>「こんな説明や話し合いができるようになりたい！」を考え、目標を自分で決めよう！</p>	<p>さあ！行動</p> <p>立てた目標に向かって、どんなことに取り組んだのか書こう。</p>	<p>かいぜん</p> <p>「ここがよかった」、「次はこうしよう」と考え、次にかそう。</p>	<p>先生や友達から</p>							
		<table border="1"> <tr> <td>工夫</td> <td></td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td></td> </tr> <tr> <td>自己調整</td> <td></td> </tr> </table>	工夫		内容		自己調整			
工夫										
内容										
自己調整										

<参考資料>

- ・あきおたから【<https://cs-akiota.or.jp/>】（最終アクセス令和8年2月13日）
- ・棚田NAVI「井仁の棚田」【<https://tanada-navi.com/introduce/ini/>】（最終アクセス令和8年2月13日）
- ・株式会社Fullbackホームページ【<https://fullback-ss.com/>】（最終アクセス令和8年2月13日）